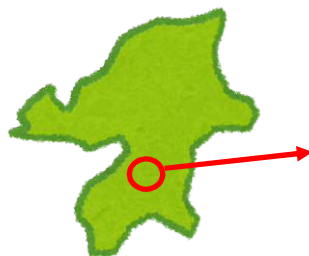


産地パワーアップ事業の取組事例(H28～H30年度:計画作成主体:久留米市水田農業推進協議会) (福岡県)

取組の概要

対象品目 : 軟弱野菜(産地面積:99.82ha)
 主な取組主体 : 久留米市北野地域 農業者56戸
 成果目標 : 販売額の10%以上の増加(総販売額)
 基準(H27年度) 27.1億円
 目標(R2年度) 29.9億円
 導入施設等 : 整備事業(低コスト耐候性ハウス)
 生産支援事業(遮光資材)



福岡県
久留米市
北野地域

推進体制

地域の関係者(久留米市、朝倉農林事務所、久留米普及指導センター等)が一体となり、事業を推進。

地域における独自の取組

〈主な取組〉

○ 普及指導センターを中心に栽培指導及び経営支援を実施。

〈県・市町村単独事業〉

○ 県単独事業により栽培管理用機械の整備を支援。

ポイント

【産地の課題及び取組方向】

久留米市北野町は、小松菜・水菜等の施設軟弱野菜の栽培が盛んである。野菜生産の更なる振興のためには周年栽培で年間を通して消費者へ安定供給する体制づくりが求められている。

【産地の体質強化に向けた方策】

- ① 安定生産・供給のための面積拡大に必要な生産施設を導入
- ② 周年栽培における夏期高温時の品質低下対策のため、遮光資材を導入

取組成果

【事業実施による直接効果】

- ① 生産施設導入による個別販売額の増加
- ② 遮光資材導入による夏場の品質向上

【事業実施による間接効果】

- ① 施設園芸に取り組む農家の増加
- ② 夏場の品質向上により取引先からの出荷量の増加の要望あり

**販売額が11%
増加
(達成率107%)**



～軟弱野菜の販売額～

